



『第5回るんるん市+第13回木あそび展』終了報告

8月11日の山の日「第5回るるん市」と「第13回木あそび展」が開催されました。

前日までの不安定な天候も当日は暑いくらいの快晴に恵まれ、特設会場に建てられたテントの中、作り手から商品説明を受けながら買い物を楽しむ方や、木のモノづくりに熱中する方など、思い思いに楽しむ姿が見られました。

今年13回目を迎える「木あそび展」では、毎年大変人気となる「こっぴで作ろう!」や「小枝のフォーク」作り、新メニューの「小枝の鉛筆」作りなど、どのメニューも席が空くのを待っていただく程の盛況ぶりとなりました。

今年初参加となる塾生の3名も、前日の会場準備から当日のモノづくり講師までを体験し、参加された皆さんに知っていただく機会になったのではないかと思います。

今回は席数の関係で参加できなかった方もいらつしやったかと思えます。来年は例年通りの開催で、多くの方に楽しんでいただけるように準備していきたいと思っておりますのでお楽しみに!

最後にご来館いただいた皆さん、ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

【旭川家具と秋岡芳夫さん -木のモノたち-】

旭川木工芸指導所（現・旭川市工芸センター）では、設立当初から中央で活躍するデザイナーを招へいし、嘱託職員として木工業界の商品開発やデザイン指導が行われてきました。このデザイン指導に秋岡さんが携わったのが 1977 年。以降 10 年間の実践指導をされたそうです。秋岡さんが指導に携わった期間には、木工芸指導所で持つ開発テーマに加え、秋岡さんが提唱していた「日本人の家具」というテーマにも合わせて取り組んでいました。

当時、秋岡さんの指導がその後の作品作りに影響を与えた2人の作り手がいいます。一人が「太田久幸」さん。旭川クラフトの先駆けとして1970年代から活躍し独創的な作品を生み出しました。元々は旋盤で家具の部品を作る木地師でしたが、そこで磨いた技術で娘のために作ったのが代表作となる「木の仲間たち」でした。そしてもう一人が「三浦忠司」さん。中学卒業後に木地製作所に就職した後、独立して「三浦木地」を設立。家具の部品製作の傍ら木製玩具を作り続け、30代の時に秋岡さんと出会ったのをきっかけに玩具作りへ転向しました。

* 今日は何を知らるか *XX



今月の一品

かくれた一品 おすすめの一品
毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！



商品名: カッティングボード
 サイズ: 大) 縦 400×横 175×厚 20(mm)
 小) 縦 300×横 160×厚 20(mm)
 価 格: 大) 7,920 円 (税込)
 小) 4,180 円 (税込)
 樹 種: ナラ、カツラ

今月の一品は【木工工房 弘】の「カッティングボード」です。どっしりとした存在感があり、刃当たりが優しいオイル仕上げ。片面だけにある縁の飾り削りは面の使い分けに嬉しいひと手間です。

普段はパンやチーズを切り分けてそのまま食卓へ。アウトドアでは野趣あふれる料理にいかでしようか。

木目を存分に活かした、使い込むほどに経年変化が楽しめるカッティングボード。おすすめです。



ショップ販売員
青木

こちらのQRコードから「森林工芸館のあれこれ」バックナンバーをご覧ください。



毎月
1日発行
森林工芸館
発行

森林工芸館の
あれこれ

▶来月号の「あれこれ」では、秋岡コレクション企画展の詳細についてご紹介します。

▶合わせて、企画展の開催内容に関連したワークショップの参加者募集についても掲載します。

▶ワークショップの参加定員は限られております。参加希望、またご興味のある方は、来月号の「森林工芸館のあれこれ」をご確認ください。

▶▶お知らせ
どま工房貸館中止と
秋岡コレクション企画展について

どま工房では10月に開催する「日本の手仕事道具－秋岡コレクション 企画展」の準備等に伴い、**9月19日（火）から12月1日（金）**の期間、どま工房の貸館を中止いたします。

ご利用いただいている皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。貸館の再開は**12月2日(土)**を予定しております。

企画展は10月6日（金）から11月19日（日）までの
期間で開催いたします。ぜひ、どま工房までお越しください。